

JPLSG ALL委員会※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
渡辺 新※	CCLSG	グループ	中通総合病院小児科
百名伸之	CCLSG	公募	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター血液腫瘍科
今井千速	CCLSG	公募	新潟大学医学部小児科
八木啓子	JACLS	グループ	大阪府立急性期・総合医療センター小児科
佐藤 篤	JACLS	グループ	宮城県立こども病院血液腫瘍科
西村真一郎	JACLS	グループ	広島大学医学部附属病院小児科
堀部敬三	JACLS	公募	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
宇佐美郁哉	JACLS	公募	神戸市立医療センター中央市民病院小児科
岡本康裕	KYCCSG	グループ	鹿児島大学医学部小児科
土田昌宏	TCCSG	グループ	茨城県立こども病院
小原 明	TCCSG	グループ	東邦大学医学部輸血部
真部 淳	TCCSG	公募	聖路加国際病院小児科
出口隆生	JACLS	オブ	三重大学医学部小児科
横澤敏也	個人会員	オブ	国立病院機構名古屋医療センター血液内科

JPLSG HLH委員会 ※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
石井榮一※	JACLS	グループ	愛媛大学医学部小児科
金兼弘和	CCLSG	グループ	富山大学医学部小児科
鈴木信寛	JACLS	グループ	札幌医科大学小児科
坂田顕文	JACLS	グループ	岐阜市民病院小児科
石田也寸志	JACLS	公募	愛媛大学医学部小児科
森本 哲	JACLS	公募	京都府立医科大学小児科
大杉夕子	JACLS	公募	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科
大賀正一	KYCCSG	公募	九州大学大学院成長発達医学分野
子川和宏	TCCSG	公募	防衛医科大学校小児科
工藤寿子	TCCSG	グループ	筑波大学臨床医学系小児科
柳澤 龍	TCCSG	グループ	信州大学医学部小児科

JPLSG 長期フォローアップ委員会※委員長

氏名	所属グループ名		施設名
石田也寸志※	JACLS	グループ	愛媛大学医学部附属病院小児科
浅見恵子	CCLSG	グループ	新潟県立新潟がんセンター小児科
松下竹次	CCLSG	公募	国立国際医療センター小児科
大園秀一	KYCCSG	グループ	久留米大学医学部小児科
吉成みやこ	JACLS	グループ	東北大学医学部附属病院小児腫瘍科
堀 浩樹	JACLS	グループ	三重大学医学部小児科
前田美穂	TCCSG	グループ	日本医科大学附属病院小児科
有瀧健太郎	TCCSG	公募	国立成育医療センター総合診療部
石井栄三郎	TCCSG	グループ	長野県立こども病院血液腫瘍科
石本浩市	個人会員	公募	あけぼの小児クリニック
栗山貴久子	個人会員	公募	あいち小児保健医療総合センター心療部
岡 敏明	個人会員	公募	札幌徳州会病院小児科

JPLSG 病理委員会 ※委員長

氏名		施設名
中川温子※	個人会員	国立成育医療センター臨床検査部
藤本純一郎	個人会員	国立成育医療センター研究所
大島孝一	個人会員	久留米大学医学部病理学教室
田丸淳一	個人会員	埼玉医科大学総合医療センター病理
中村栄男	個人会員	名古屋大学医学部附属病院病理部
中峯寛和	個人会員	奈良医科大学病理診断学講座
北條 洋	個人会員	福島県立医科大学医学部第一病理学教室
吉野 正	個人会員	岡山大学大学院医歯学総合研究科病理・病態学
松野吉宏	個人会員	北海道大学病院病理部

JPLSG 分子・細胞遺伝学的診断委員会

林 泰秀※	TCCSG	群馬県立小児医療センター
堀 壽成	CCLSG	愛知医科大学医学部小児科
出口隆生	JACLS	三重大学医学部小児科
太田秀明	JACLS	大阪大学大学院医学系研究科小児発達医学
照井君典	JACLS	弘前大学医学部小児科
林 英蔚	JACLS	天理よろづ相談所病院小児科
岩本彰太郎	JACLS	三重大学医学部小児科
横田昇平	個人会員	京都府立医科大学第三内科
滝 智彦	個人会員	京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態検査医学
清河信敬	個人会員	国立成育医療センター研究所発生・分化研究部形態発生研究室
横澤敏也	個人会員	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

JPLSG 監査委員会

小田 慈※	JACLS	岡山大学医学部保健学科
今泉益栄	JACLS	宮城県立こども病院血液腫瘍科
東 英一	JACLS	三重大学医学部小児科
工藤 亨	JACLS	北海道立子ども総合医療・療育センター
太田 茂	CCLSG	滋賀医科大学医学部小児科
松崎彰信	KYCCSG	九州大学医学部保健学科
林 泰秀	TCCSG	群馬県立小児医療センター
藤本純一郎	個人会員	国立成育医療センター研究所
掛江直子	外部委員	国立成育医療センター研究所成育政策科学研究部

JPLSG 研究審査委員会 ※委員長

氏名	所属グループ名	施設名
土屋 滋※	JACLS	東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座 小児病態学分野
麦島秀雄	CCLSG	日本大学医学部
工藤 亨	JACLS	北海道立子ども総合医療・療育センター
松崎彰信	KYCCSG	九州大学医学部保健学科
佐藤武幸	TCCSG	千葉大学感染症管理治療部
戈木クレイグヒル滋子	外部委員	東京都立保健科学大学
熱田由子	外部委員	名古屋大学医学部造血細胞移植情報管理学

JPLSG プロトコールレビューワーキンググループ ※委員長

氏名	所属グループ名	施設名
原 純一※	JACLS	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科
七野浩之	CCLSG	日本大学医学部附属板橋病院小児科
佐藤 貴	JACLS	広島大学医学部小児科
末延聡一	JACLS	大分大学医学部小児科
澤田明久	JACLS	大阪府立母子保健総合医療センター小児科
岡田恵子	JACLS	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科
梅田雄嗣	JACLS	京都大学大学院発達小児科学
松本公一	JACLS	名古屋第一赤十字病院小児血液腫瘍科
永利義久	KYCCSG	国立病院機構九州がんセンター小児科
岡本康裕	KYCCSG	鹿児島大学医学部小児科
藤村純也	TCCSG	順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科
加藤元博	TCCSG	東京大学大学院医学系研究科
望月慎史	TCCSG	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科
高橋良博	個人会員	国立病院機構青森病院小児科

JPLSG施設会員一覧

平成20年3月1日
(敬称略)

(187施設)

施設コード	グループ	施設名	研究責任者	実務担当者
103	JACLS	札幌医科大学附属病院小児科	鈴木信寛	鈴木信寛
104	JACLS	北海道立子ども総合医療・療育センター小児科	工藤 亨	小田孝憲
106	JACLS	特定医療法人北楡会札幌北楡病院小児科	小林良二	小林良二
107	JACLS	北海道大学医学部附属病院小児科	金田 眞	金田 眞
108	CCLSG	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター小児科	長 祐子	長 祐子
110	JACLS	KKR札幌医療センター小児科	鹿野高明	鹿野高明
111	JACLS	旭川医科大学附属病院小児科	吉田 眞	吉田 眞
112	JACLS	市立函館病院小児科	依田弥奈子	依田弥奈子
114	JACLS	市立釧路総合病院小児科	足立憲昭	水江伸夫
202	JACLS	弘前大学医学部附属病院小児科	伊藤悦朗	照井君典
206	JACLS	青森県立中央病院小児科	立花直樹	立花直樹
207	CCLSG	市立秋田総合病院小児科	小泉ひろみ	小泉ひろみ
208	CCLSG	中通総合病院小児科	渡辺 新	渡辺 新
209	CCLSG	秋田大学医学部附属病院小児科	矢野道広	矢野道広
210	JACLS	岩手医科大学附属病院小児科	遠藤幹也	遠藤幹也
211	JACLS	岩手県立北上病院小児科	越前屋竹寅	越前屋竹寅
214	JACLS	いわき市立総合磐城共立病院小児科	鈴木 潤	浅田洋司
216	CCLSG	福島県立医科大学附属病院小児科	菊田 敦	菊田 敦
217	JACLS	東北大学病院小児科・小児腫瘍科	土屋 滋	力石 健
218	JACLS	宮城県立こども病院血液腫瘍科	今泉益栄	佐藤 篤
220	JACLS	山形大学医学部附属病院小児科	三井哲夫	仙道 大
221	JACLS	仙台市立病院小児科	大竹正俊	大竹正俊
301	TCCSG	茨城県立こども病院小児科	土田昌宏	小池和俊
303	TCCSG	筑波大学附属病院小児科	福島 敬	福島 敬
304	TCCSG	横浜市立大学附属病院小児科	後藤裕明	後藤裕明
306	TCCSG	済生会横浜市南部病院小児科	甲斐純夫	高橋浩之
307	TCCSG	帝京大学医学部附属溝口病院小児科	石黒 精	鈴木徹臣
308	TCCSG	北里大学病院小児科	中舘尚也	中舘尚也
309	TCCSG	東海大学医学部附属病院小児科	加藤俊一	森本 克
310	TCCSG	昭和大学藤が丘病院小児科	磯山恵一	山本将平
311	TCCSG	神奈川県立こども医療センター血液・再生医療科	気賀沢寿人	松本正栄
312	TCCSG	聖マリアンナ医科大学病院小児科	木下明俊	木下明俊
313	TCCSG	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科	瀧 正志	木下明俊
315	TCCSG	群馬県立小児医療センター血液腫瘍科	林 泰秀	外松 学
316	TCCSG	群馬大学医学部附属病院小児科	金澤 崇	金澤 崇
319	TCCSG	埼玉医科大学総合医療センター小児科	森脇浩一	森脇浩一
320	TCCSG	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科	菊地 陽	菊地 陽
322	TCCSG	防衛医科大学校附属病院小児科	野々山恵章	子川和宏
323	TCCSG	埼玉医科大学病院小児科	石井佐織	石井佐織
324	TCCSG	帝京大学ちば総合医療センター小児科	太田節雄	野中俊秀
326	TCCSG	日本医科大学千葉北総病院小児科	浅野 健	浅野 健
328	TCCSG	成田赤十字病院小児血液腫瘍科	角南勝介	野口 靖
329	TCCSG	千葉大学医学部附属病院小児科	石和田稔彦	大木健太郎
330	TCCSG	千葉県こども病院血液腫瘍科	沖本由理	角田治美
332	TCCSG	松戸市立病院小児科	小森功夫	小森功夫
333	TCCSG	東京医科大学病院小児科	星加明德	小穴信吾
334	CCLSG	国立国際医療センター小児科	松下竹次	佐藤典子

施設コード	グループ	施設名	研究責任者	実務担当者
335	CCLSG	日本大学医学部附属板橋病院小児科	麦島秀雄	陳 基明
336	TCCSG	武蔵野赤十字病院小児科	日下隼人	今井雅子
337	TCCSG	帝京大学医学部附属病院 小児科	中村こずえ	中村こずえ
338	TCCSG	東京医科歯科大学医学部附属病院小児科	水谷修紀	長澤正之
339	TCCSG	東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科	加藤陽子	加藤陽子
340	TCCSG	都立清瀬小児病院血液腫瘍科	金子 隆	金子 隆
341	TCCSG	東京慈恵会医科大学附属病院小児科	秋山政晴	加藤陽子
342	TCCSG	日本医科大学附属病院小児科	前田美穂	前田美穂
343	TCCSG	東京女子医科大学東医療センター小児科	和田恵美子	加藤文代
344	TCCSG	東京大学医科学研究所附属病院小児細胞移植科	辻浩一郎	海老原康博
345	TCCSG	東京大学医学部附属病院小児科	井田孔明	康 勝好
347	TCCSG	慶應義塾大学病院小児科	嶋田博之	嶋田博之
348	TCCSG	東京都立駒込病院小児科	賀来秀文	賀来秀文
349	TCCSG	東邦大学医療センター大森病院小児科	小原 明	小原 明
350	TCCSG	昭和大学病院小児科	北林 耐	阿部祥英
351	TCCSG	順天堂大学医学部附属順天堂病院小児科	齋藤正博	藤村純也
353	TCCSG	国立成育医療センター小児腫瘍科・血液科	熊谷昌明	清谷知賀子
354	TCCSG	聖路加国際病院小児科	細谷亮太	真部 淳
355	TCCSG	杏林大学医学部附属病院小児科	別所文雄	吉野 浩
356	TCCSG	東京歯科大学市川総合病院小児科	川口裕之	川口裕之
358	TCCSG	東京西徳州会病院小児科	小林美由紀	小林美由紀
359	TCCSG	獨協医科大学病院小児科	杉田憲一	黒澤秀光
360	TCCSG	自治医科大学附属病院小児科	郡司勇治	柏井良文
361	TCCSG	信州大学医学部附属病院小児科	小池健一	小池健一
362	TCCSG	長野県立こども病院血液・腫瘍科	石井栄三郎	石井栄三郎
363	CCLSG	新潟大学医歯学総合病院小児科	今井千速	今井千速
364	CCLSG	新潟県立がんセンター新潟病院小児科	浅見恵子	小川 淳
365	TCCSG	山梨大学医学部附属病院小児科	杉田完爾	犬飼岳史
367	TCCSG	埼玉医科大学国際医療センター包括的がんセンター小児腫瘍科	田中竜平	田中竜平
401	JACLS	名鉄病院小児科	福田 稔	福田 稔
402	JACLS	藤田保健衛生大学附属病院小児科	吉川哲史	吉川哲史
403	CCLSG	愛知医科大学病院小児科	鶴澤正仁	堀 壽成
404	JACLS	小牧市民病院小児科	大野敏行	大野敏行
405	JACLS	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター小児科	堀部敬三	前田尚子
407	JACLS	名古屋市立東市民病院小児科	矢崎 信	水谷圭吾
408	JACLS	名古屋第二赤十字病院小児科	石井睦夫	石井睦夫
409	JACLS	安城更生病院小児科	宮島雄二	宮島雄二
411	JACLS	名古屋第一赤十字病院小児血液腫瘍科	加藤剛二	松本公一
412	JACLS	名古屋大学医学部附属病院小児科	小島勢二	谷ヶ崎博
414	JACLS	名古屋市立大学医学部附属病院小児科	伊藤康彦	伊藤康彦
415	JACLS	豊橋市民病院小児科	伊藤 剛	伊藤 剛
416	JACLS	一宮市立市民病院小児科	判治康彦	三宅能成
417	JACLS	岡崎市民病院小児科	近藤 勝	近藤 勝
418	CCLSG	金沢大学医学部附属病院小児科	小泉晶一	犀川 太
419	CCLSG	石川県立中央病院小児科	堀田成紀	堀田成紀
420	CCLSG	金沢医科大学病院小児科	柳瀬卓也	柳瀬卓也
421	JACLS	岐阜市民病院小児科	鷹尾 明	篠田邦大
423	JACLS	岐阜大学医学部附属病院小児科	近藤直実	船戸道徳
424	JACLS	県西部浜松医療センター小児科	矢島周平	矢島周平

施設コード*	グループ*	施設名	研究責任者	実務担当者
425	JACLS	浜松医科大学附属病院小児科	岡田周一	岡田周一
427	CCLSG	静岡県立こども病院血液腫瘍科	三間屋純一	堀越泰雄
428	JACLS	市立島田市民病院小児科	武藤庫参	武藤庫参
430	JACLS	聖隷浜松病院小児科	松林 正	松林 正
431	TCCSG	静岡県立静岡がんセンター小児科	石田裕二	石田裕二
432	CCLSG	富山大学附属病院小児科	金兼弘和	野村恵子
435	JACLS	福井大学医学部附属病院小児科	眞弓光文	谷澤昭彦
438	JACLS	三重大学医学部附属病院小児科	駒田美弘	堀 浩樹
501	JACLS	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター小児科	多和昭雄	多和昭雄
502	CCLSG	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院小児科	川村尚久	川村尚久
504	JACLS	大阪市立大学医学部附属病院小児科	倭 和美	倭 和美
505	JACLS	近畿大学医学部附属病院小児科	坂田尚己	坂田尚己
507	JACLS	松下記念病院小児科	吉原隆夫	石田宏之
508	JACLS	大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科	井上雅美	井上雅美
510	JACLS	大阪大学医学部附属病院小児科	太田秀明	橋井佳子
512	JACLS	近畿大学医学部堺病院小児科	森口直彦	森口直彦
513	CCLSG	大阪医科大学附属病院小児科	河上千尋	河上千尋
514	JACLS	関西医科大学附属枚方病院小児科	河崎裕英	河崎裕英
515	JACLS	財団法人田附興風会北野病院小児科	秦 大資	塩田光隆
516	JACLS	大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科	原 純一	大杉夕子
517	JACLS	大阪赤十字病院小児科	田中晴樹	田中晴樹
518	JACLS	大阪府立急性期・総合医療センター小児科	細井 岳	細井 岳
519	JACLS	中野こども病院小児科	圀府寺美	圀府寺美
521	JACLS	市立岸和田市民病院小児科	瀬戸嗣郎	藤野寿典
523	JACLS	京都第一赤十字病院小児科	中林佳信	中林佳信
524	JACLS	京都桂病院小児科	若園吉裕	水嶋康浩
525	JACLS	京都大学医学部附属病院小児科	中畑龍俊	足立壮一
527	JACLS	京都市立病院小児科	黒田啓史	黒田啓史
528	JACLS	独立行政法人国立病院機構京都医療センター小児科	秋山祐一	秋山祐一
529	JACLS	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター小児科	中島文明	中島文明
530	JACLS	京都府立医科大学附属病院小児科	杉本 徹	森本 哲
532	CCLSG	滋賀医科大学附属病院小児科	太田 茂	多賀 崇
533	JACLS	滋賀県立小児保健医療センター小児科	鬼頭敏幸	鬼頭敏幸
534	JACLS	大津赤十字病院小児科	今井 剛	今井 剛
536	JACLS	天理よろづ相談所病院小児科	南部光彦	林 英蔚
537	JACLS	奈良県立医科大学附属病院小児科	樋口万緑	樋口万緑
538	JACLS	神戸大学医学部附属病院小児科	早川 晶	矢内友子
540	JACLS	神戸市立医療センター中央市民病院小児科	宇佐美郁哉	宇佐美郁哉
541	JACLS	姫路赤十字病院小児科	久呉真章	高橋宏暢
542	JACLS	明石市立市民病院小児科	貫名貞之	石井るみ子
543	JACLS	兵庫県立こども病院血液腫瘍科	小阪嘉之	長谷川大一郎
544	JACLS	兵庫医科大学病院小児科	大塚欣敏	大塚欣敏
545	JACLS	西神戸医療センター小児科	松原康策	松原康策
546	JACLS	社会保険神戸中央病院小児科	坂本 泉	加納 原
547	JACLS	日本赤十字社和歌山医療センター小児科	百井 亨	濱畑啓悟
548	JACLS	和歌山県立医科大学附属病院小児科	神波信次	神波信次
601	JACLS	愛媛県立中央病院小児科	徳田桐子	徳田桐子
602	JACLS	愛媛大学医学部附属病院小児科	石井榮一	田内久道
603	JACLS	松山赤十字病院小児科	小谷信行	雀部 誠

施設コード	グループ	施設名	研究責任者	実務担当者
604	JACLS	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター小児科	古山輝久	古山輝久
605	JACLS	岡山大学医学部・歯学部附属病院小児科	小田 慈	茶山公祐
606	JACLS	岡山済生会総合病院小児科	赤在あゆみ	赤在あゆみ
607	JACLS	岡山赤十字病院小児科	楢原幸二	楢原幸二
609	JACLS	川崎医科大学附属病院小児科	川崎浩三	川崎浩三
610	JACLS	倉敷中央病院小児科	藤原充弘	藤原充弘
611	CCLSG	独立行政法人国立病院機構香川小児病院小児科	岩井朝幸	岩井朝幸
612	JACLS	香川大学医学部附属病院小児科	今井 正	今井 正
613	JACLS	高知医療センター小児科	西内律雄	西内律雄
614	CCLSG	高知赤十字病院小児科	阿部孝典	阿部孝典
615	JACLS	高知大学医学部附属病院小児科	脇口 宏	久川浩章
616	JACLS	松江赤十字病院小児科	岡田雅行	岡田雅行
617	JACLS	島根大学医学部附属病院小児科	金井理恵	金井理恵
618	JACLS	島根県立中央病院小児科	浅井康一	浅井康一
619	CCLSG	徳島大学病院小児科	渡辺浩良	渡辺浩良
620	CCLSG	鳥取大学医学部附属病院小児科	上山潤一	上山潤一
621	CCLSG	鳥取県立中央病院小児科	星加忠孝	星加忠孝
622	JACLS	広島大学病院小児科	小林正夫	西村真一郎
623	JACLS	独立行政法人国立病院機構呉医療センター小児科	田中丈夫	田中丈夫
624	JACLS	広島赤十字・原爆病院小児科	浜本和子	藤田直人
625	KYCCSG	山口大学医学部附属病院小児科	堀田紀子	深野玲司
629	CCLSG	徳島赤十字病院 小児科	渡辺 力	渡辺 力
702	KYCCSG	大分県立病院小児科	糸長伸能	糸長伸能
703	JACLS	大分大学医学部附属病院小児科	末延聡一	末延聡一
704	JACLS	琉球大学医学部附属病院小児科	岡村隆行	岡村隆行
705	CCLSG	沖縄県立南部医療センターこども医療センター血液腫瘍科	百名伸之	百名伸之
706	KYCCSG	鹿児島市立病院小児科	川上 清	川上 清
707	KYCCSG	鹿児島大学病院小児診療センター小児科	河野嘉文	岡本康裕
708	TCCSG	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター小児科	高木一孝	森永信吾
709	TCCSG	熊本大学医学部附属病院小児科	橋山元浩	橋山元浩
710	TCCSG	熊本赤十字病院小児科	右田昌宏	右田昌宏
711	JACLS	佐賀大学医学部附属病院小児科	尾形善康	西 眞範
712	CCLSG	長崎大学医学部・歯学部附属病院小児科	岡田雅彦	岡田雅彦
713	KYCCSG	北九州市立医療センター小児科	日高靖文	日高靖文
714	JACLS	北九州市立八幡病院 小児救急センター小児科	神菌淳司	神菌淳司
715	KYCCSG	久留米大学医学部附属病院小児科	稲田浩子	上田耕一郎
716	JACLS	産業医科大学病院小児科	白幡 聡	宮地良介
717	KYCCSG	九州大学病院小児科	原 寿郎	松崎彰信
718	KYCCSG	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター小児科	岡村 純	永利義久
719	KYCCSG	福岡大学病院小児科	柳井文男	柳井文男
720	KYCCSG	浜の町病院小児科	中山秀樹	中山秀樹
721	KYCCSG	宮崎大学医学部附属病院小児科	盛武 浩	下之段秀美

個人会員

2008年3月10日現在

(敬称略)

会員名	施設名		
藤本純一郎	国立成育医療センター研究所		病理委員会
大島孝一	久留米大学医学部	病理学教室	病理委員会
田丸淳一	埼玉医科大学総合医療センター	病理	病理委員会
中川温子	国立成育医療センター	臨床検査部	病理委員会
中村栄男	名古屋大学医学部附属病院	病理部	病理委員会
中峯寛和	奈良医科大学	病理診断学講座	病理委員会
北條 洋	福島県立医科大学医学部	第一病理学教室	病理委員会
吉野 正	岡山大学大学院医歯学総合研究科	病理・病態学	病理委員会
清河信敬	国立成育医療センター研究所	発生・分化研究部	分子・細胞遺伝学的診断委員会
石本浩市	あけぼの小児クリニック		長期フォローアップ委員会
市川 仁	国立がんセンター研究所	腫瘍発現解析プロジェクト	
岡 敏明	医療法人徳州会札幌徳州会病院	小児科	長期フォローアップ委員会
栗山貴久子	あいち小児保健医療総合センター	心療部	長期フォローアップ委員会
宮地勇人	東海大学医学部附属病院	臨床検査科	
江良択実	熊本大学医学部附属病院	血液内科	
横田昇平	京都府立医科大学	血液・腫瘍内科	分子・細胞遺伝学的診断委員会
滝 智彦	京都府立医科大学大学院医学研究科	分子病態検査医学	分子・細胞遺伝学的診断委員会
横澤敏也	名古屋医療センター臨床研究センター	血液・腫瘍研究部	分子・細胞遺伝学的診断委員会
齋藤友博	永井クリニック		Ph1ALL委員会
山本 健	九州大学防御医学研究所	ゲノム集団遺伝学分野	
堀内久徳	京都大学病院	循環器内科	
絹川直子	九州大学病院	医療情報部	
佐藤武幸	千葉大学医学部附属病院	感染症管理治療部	
安川正貴	愛媛大学医学部	第一内科	
遠野千佳子	青森労災病院	小児科	CML委員会
松野吉宏	北海道大学病院	病理部	病理委員会
高橋良博	国立病院機構青森病院	小児科	乳児白血病委員会、PRWG
正木英一	国立成育医療センター	放射線診療部	
伊藤雅文	名古屋第一赤十字病院	病理部	
渡辺智之	社会福祉法人仁至会認知症介護研究・研修大府センター		
東 達也	滋賀県立成人病センター研究所		
吉見礼美	名古屋大学医学部	造血細胞移植情報管理学	
牧本 敦	国立がんセンター中央病院	小児科	
徳山美香	東邦大学医療センター佐倉病院	小児科	

(計34名)

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shimada A, Taki T, Tabuchi K, Taketani T, Hanada R, Tawa A, Tsuchida M, Horibe K, Tsukimoto I, Hayashi Y.	Tandem duplications of MLL and FLT3 are correlated with poor prognoses in pediatric acute myeloid leukemia: A study of the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Pediatr Blood Cancer	50(2)	264-9	2008
Hama A, Yagasaki H, Takahashi Y, Nishio N, Muramatsu H, Yoshida N, Tanaka M, Hidaka H, Watanabe N, Yoshimi A, Matsumoto K, Kudo K, Kato K, Horibe K, Kojima S.	Acute megakaryoblastic leukaemia (AMKL) in children: a comparison of AMKL with and without Down syndrome.	Br J Haematol	140(5)	552-61	2008
Kawamura M, Kaku H, Taketani T, Taki T, Shimada A, Hayashi Y.	Mutations of GATA1, FLT3, MLL-partial tandem duplication, NRAS, and RUNX1 genes are not found in a 7-year-old Down syndrome patient with acute myeloid leukemia (FAB-M2) having a good prognosis.	Cancer Genet Cytogenet	180	74-78	2008
Kagawa Y, Noge I, Higashigawa M, Komada Y.	Combined antitumor effect of cyclophosphamide and bromodeoxyuridine in BDF1 mice bearing L1210 ascites tumors.	Biol Pharm Bull	31(1)	57-61	2008
Shimada A, Taki T, Kubota C, Tawa A, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, Hayashi Y.	No nucleophosmin mutations in pediatric acute myeloid leukemia with normal karyotype: a study of the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Leukemia	21(6)	1307	2007
Shimada A, Taki T, Kubota C, Itou T, Tawa A, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, Hayashi Y.	N822 mutation of KIT gene was frequent in pediatric acute myeloid leukemia patients with t(8;21) in Japan: a study of the Japanese childhood AML cooperative study group.	Leukemia	21(10)	2218-9	2007
Kudo K, Kojima S, Tabuchi K, Yabe H, Tawa A, Imaizumi M, Hanada R, Hamamoto K, Kobayashi R, Morimoto A, Nakayama H, Tsuchida M, Horibe K, Kigasawa H, Tsukimoto I; Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Prospective study of a pirarubicin, intermediate-dose cytarabine, and etoposide regimen in children with Down syndrome and acute myeloid leukemia: the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	J Clin Oncol	25(34)	5442-7	2007

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tomizawa D, Koh K, Sato T, Kinukawa N, Morimoto A, Isoyama K, Kosaka Y, Oda T, Oda M, <u>Hayashi Y</u> , Eguchi M, <u>Horibe K</u> , Nakahata T, Mizutani S, <u>Ishii E</u> .	Outcome of risk-based therapy for infant acute lymphoblastic leukemia with or without an MLL gene rearrangement, with emphasis on late effects: a final report of two consecutive studies, MLL96 and MLL98, of the Japan Infant Leukemia Study Group.	Leukemia	21(11)	2258-63	2007
Tsuzuki S, Karnan S, <u>Horibe K</u> , Matsumoto K, Kato K, Inukai T, Goi K, Sugita K, Nakazawa S, Kasugai Y, Ueda R, Seto M.	Genetic abnormalities involved in t(12;21) TEL-AML1 acute lymphoblastic leukemia: Analysis by means of array-based comparative genomic hybridization.	Cancer Sci	98(5)	698-706	2007
Hidaka H, Yagasaki H, Takahashi Y, Hama A, Nishio N, Tanaka M, Yoshida N, Villalobos IB, Wang Y, Xu Y, <u>Horibe K</u> , Chen S, Kadomatsu K, Kojima S.	Increased midkine gene expression in childhood B-precursor acute lymphoblastic leukemia.	Leuk Res	31(8)	1045-51	2007
Ashihara E, Nakamura S, Inaba T, Taki T, <u>Hayashi Y</u> , Shimazaki C.	A novel AF10-CALM fusion transcript in gamma/delta-T cell type lymphoblastic lymphoma.	Am J Hematol	82	859-60	2007
Shimada A, Ichikawa H, Taki T, Kubota C, Hongo T, Sako M, Morimoto A, <u>Tawa A</u> , Tsukimoto I, <u>Hayashi Y</u> .	Low Frequency of KIT Gene Mutation in Pediatric Acute Myeloid Leukemia with inv(16)(p13q22): A Study of the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Int J Hematol	86	289-90	2007
Furuichi Y, Goi K, Inukai T, Sato H, Nemoto A, Takahashi K, Akahane K, Hirose K, Honna H, Kuroda I, Zhang X, Kagami K, <u>Hayashi Y</u> , Harigaya K, Nakazawa S, Sugita K.	Fms-like tyrosine kinase 3 ligand stimulation induces MLL-rearranged leukemia cells into quiescence resistant to antileukemic agents.	Cancer Res	67	9852-61	2007
Shimada A, Taketani T, Kikuchi A, Hanada R, Arakawa H, Kimura H, Chen Y, <u>Hayashi Y</u> .	AML1 mutation and FLT3-internal tandem duplication in leukemia transformed from myelodysplastic syndrome.	J Pediatr Hematol Oncol	29	666-7	2007
Li Y, Dida F, Iwao A, Deguchi T, Azuma E, <u>Komada Y</u> .	Cell cycle dependency of caspase activation in Fas-induced apoptosis in leukemia cells.	Cancer Sci	98(8)	1174-83	2007

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shimada A, <u>Hayashi Y</u> , Ogasawara M, Park MJ, Katoh M, Minakami H, Kitoh T, Kojima S, Kawa K, Kimura H.	Pro-inflammatory cytokinemia is frequently found in Down syndrome patients with hematological disorders.	Leuk Res	31	1199-203	2007
Suminoe A, Matsuzaki A, Hattori H, Koga Y, <u>Ishii E</u> , Hara T.	Expression of matrix metalloproteinase (MMP) and tissue inhibitor of MMP (TIMP) genes in blasts of infant acute lymphoblastic leukemia with organ involvement.	Leukemia Res	31	1437-40	2007
Matsuda K, Shimada A, Yoshida N, Ogawa A, <u>Watanabe A</u> , Yajima S, Iizuka S, Koike K-t, Yanai F, Kawasaki K, Yanagimachi M, Kikuchi A, Ohtsuka Y, Hidaka E, Yamauchi K, Tanaka M, Yanagisawa R, Nakazawa Y, Shiohara M, <u>Manabe A</u> , Kojima S, Koike K	Spontaneous improvement of hematologic abnormalities in patients having juvenile myelomonocytic leukemia with specific RAS mutations.	Blood	109	5477-80	2007
Adachi S, <u>Manabe A</u> , Imaizumi M, Taga T, Tawa A, <u>Tsurusawa M</u> , Kikuchi A, Masunaga A, Tsuchida M, Nakahata T.	Acute myeloid leukemia with multilineage dysplasia in children.	Int J Hematol	86	358-63	2007
Kato I, <u>Manabe A</u> , Aoyama C, Kamiya T, Morimoto T, Matsufuji H, Suzuki K, Kitagawa Y, Hori T, Tsurusawa M, Kiyokawa N, <u>Fujimoto J</u> , Hosoya R.	Development of diffuse large B cell lymphoma during the maintenance therapy for B-lineage acute lymphoblastic leukemia.	Pediatr Blood Cancer	48	230-2	2007
Suzuki K, Kiyokawa N, Taguchi T, Takenouchi H, Saito M, Shimizu T, Okita H, <u>Fujimoto J</u> .	Characterization of monocyte-macrophage-lineage cells induced from CD34+ bone marrow cells in vitro.	Int J Hematol	85(5)	384-9	2007
Kobayashi R, <u>Tawa A</u> , Hanada R, <u>Horibe K</u> , Tsuchida M, Tsukimoto I.	Extramedullary infiltration at diagnosis and prognosis in children with acute myelogenous leukemia.	Pediatr Blood Cancer	48	393-8	2007
Nemoto N, Suzukawa K, Shimizu S, Shinagawa A, Takei N, Taki T, <u>Hayashi Y</u> , Kojima H, Kawakami Y, Nagasawa T.	Identification of a novel fusion gene MLL-MAML2 in secondary acute myelogenous leukemia and myelodysplastic syndrome with inv(11)(q21q23).	Genes Chromosomes Cancer	46	813-9	2007

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Taguchi T, Takenouchi H, Shiozawa Y, Matsui J, Kitamura N, Miyagawa Y, Katagiri YU, Takahashi T, Okita H, <u>Fujimoto J</u> , Kiyokawa N.	Interleukin-7 contributes to human pro-B-cell development in a mouse stromal cell-dependent culture system.	Exp Hematol	35(9)	1398-407	2007
<u>Tsurusawa M</u> , Yumura-Yagi K, Ohara A, Hara J, Katano N, Tsuchida M; Japanese Study Groups.	Survival outcome after the first central nervous system relapse in children with acute lymphoblastic leukemia: a retrospective analysis of 79 patients in a joint program involving the experience of three Japanese study groups.	Int J Hematol	85	36-40	2007
Sadakane Y, Zaito M, Nishi M, Sugita K, Mizutani S, Matsuzaki A, Sueoka E, <u>Hamasaki Y</u> , <u>Ishii E</u>	Expression and production of aberrant Pax5 with deletion of exon 8 in B-lineage acute lymphoblastic leukemia of children.	Br J Haematol	136	297-300	2007
Inukai T, Hirose K, Inaba T, Kurosawa H, Hama A, Inada H, Chin M, Nagatoshi Y, Ohtsuka Y, Oda M, Goto H, Endo M, Morimoto A, Imaizumi M, Kawamura N, Miyajima Y, Ohtake M, Miyaji R, Saito M, <u>Tawa A</u> , Yanai F, Goi K, Nakazawa S and Sugita K	Hypercalcemia in childhood acute lymphoblastic leukemia: frequent implication of parathyroid hormone-related peptide and E2A-HLF from translocation 17;19	Leukemia	21	288-96	2007
大園秀一、 <u>石田也寸志</u> 、栗山貴久子、浅見恵子、松下竹次、前田美穂、有瀧健太郎、石井栄三郎、吉成みやこ、石本浩市、 <u>堀部敬三</u>	小児がん長期フォローアップ調査報告	日本小児科学会雑誌	111	1392-8	2007
<u>堀部敬三</u>	JPLSG の最近の話題	BLOOD TOPICS	1	9-15	2007
<u>石田也寸志</u>	小児造血器腫瘍患者の長期生存例での問題点	血液フロンティア	17	69-78	2007
<u>石田也寸志</u>	ランゲルハンス細胞組織球症の晩期障害と関連腫瘍	日本小児血液学会雑誌	21	289-95	2007
Ichikawa H, Tanabe K, Mizushima H, <u>Hayashi Y</u> , Mizutani S, <u>Ishii E</u> , Hongo T, Kikuchi A, Satake M	Common gene expression signatures in t(8;21)- and inv(16)-acute myeloid leukaemia.	Br J Haematol	135	336-47	2006

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Taguchi T, Takenouchi H, Matsui J, Tang W, Itagaki M, Shiozawa Y, Suzuki K, Sakaguchi S, Katagiri YU, Takahshi T, Okita H, <u>Fujimoto J</u> , Kiyokawa N	Involvement of Insulin-like Growth Factor-I and Insulin-like Growth Factor Binding Proteins in Pro-B-cell Development.	Exp Hematol	34	508-18	2006
<u>Ishii E</u> , Oda M, Kinugawa N, Oda T, <u>Takimoto T</u> , Suzuki N, Kosaka Y, Ohara A, Ogawa A, Ishii M, Sakata N, Okamura T, Koike K, Kojima S, <u>Horibe K</u> , Mizutani S	Features and outcome of neonatal leukemia in Japan: Experience of the Japan Infant Leukemia Study Group.	Pediatr Blood Cancer	47(3)	268-72	2006
Shimada A, Taki T, Tabuchi K, <u>Tawa A</u> , <u>Horibe K</u> , Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, <u>Hayashi Y</u>	KIT mutations, and not FLT3 internal tandem duplication, are strongly associated with a poor prognosis in pediatric acute myeloid leukemia with t(8;21): a study of the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Blood	107(5)	1806-9	2006
Chen Y, Takita J, Hiwatari M, Igarashi T, Hanada R, Kikuchi A, Hongo T, Taki T, Ogasawara M, Shimada A, <u>Hayashi Y</u>	Mutations of the PTPN11 and RAS genes in rhabdomyosarcoma and pediatric hematological malignancies.	Genes Chromosomes Cancer	45	583-91	2006
Xu G, <u>Kato K</u> , Toki T, Takahashi Y, Terui K, Ito E	Development of Acute Megakaryoblastic Leukemia From a Minor Clone in a Down Syndrome Patient With Clinically Overt Transient Myeloproliferative Disorder.	J Pediatr Hematol Oncol	10	696-8	2006
Arico M, Baruchel A, Bertrand Y, Biondi A, Conter V, Eden T, Gadner H, Gaynon P, <u>Horibe K</u> , Hunger SP, Janka-Schaub G, Masera G, Nachman J, Pieters R, Schrappe M, Schmiegelow K, Valsecchi MG, Pui CH.	The seventh international childhood acute lymphoblastic leukemia workshop report: Palermo, Italy, January 29--30, 2005	Leukemia	19	1145-52	2005
Uchiyama M, Maesawa C, Yashima-Abo A, Tarusawa M, Endo M, Sugawara W, Chida S, Onodera S, Tsukushi Y, Ishida Y, <u>Tsuchiya S</u> , Masuda T	Consensus JH gene probes with conjugated 3'-minor groove binder for monitoring minimal residual disease in acute lymphoblastic leukemia	J Mol Diagn	7	121-6	2005

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ono R, Ihara M, Nakajima H, Ozaki K, Kataoka-Fujiwara Y, Taki T, Nagata K, Inagaki M, Yoshida N, Kitamura T, <u>Hayashi Y</u> , Kinoshita M, Nosaka T.	Disruption of Sept6, a fusion partner gene of Mixed Lineage Leukemia (MLL), does not affect the ontogeny, leukemogenesis induced by MLL-SEPT6, or the phenotype induced by the loss of Sept4	Mol Cell Biol	25	10965-78	2005
Urano A, Endoh M, Wada T, Morikawa Y, Itoh M, Kataoka Y, Taki T, Akazawa H, Nakajima H, Komuro I, Yoshida N, <u>Hayashi Y</u> , Handa H, Kitamura T, Nosaka T.	Infertility with defective spermiogenesis in mice lacking AF5q31, the target of chromosomal translocation in human infant leukemia	Mol Cell Biol	25	6834-6845	2005
Taki T, Akiyama M, Saito S, Ono R, Taniwaki M, Kato Y, Yuza Y, Eto Y, <u>Hayashi Y</u>	The MYO1F, unconventional myosin type 1F, gene is fused to MLL in infant acute monocytic leukemia with a complex translocation involving chromosomes 7, 11, 19 and 22	Oncogene	24	5191-5197	2005
Igarashi S, <u>Manabe A</u> , Ohara A, Kumagai M, Saito T, Okimoto Y, Kamijo T, Isoyama K, Kajiwara M, Sotomatsu M, Sugita K, Sugita K, Maeda M, Yabe H, Kinoshita A, Kaneko T, <u>Hayashi Y</u> , Ikuta K, Hanada R, Tsuchida M.	No advantage of dexamethasone over prednisolone for the outcome of standard- and intermediate-risk childhood acute lymphoblastic leukemia in the Tokyo Children's Cancer Study Group L95-14 protocol	J Clin Oncol	23	6489-6498	2005
Lee SY, Kumano K, Masuda S, Hangaishi A, Takita J, Nakazaki K, Kurokawa M, <u>Hayashi Y</u> , Ogawa S, Chiba S.	Mutations of the Notch1 gene in T-cell acute lymphoblastic leukemia: analysis in adults and children	Leukemia	19	1841-1843	2005
Kawaguchi H, Taketani T, Hongo T, Park MJ, Koh K, Ida K, Kobayashi M, Takita J, Taki T, Yoshino H, Bessho F, <u>Hayashi Y</u> .	In vitro drug resistance to imatinib and mutation of ABL gene in childhood Philadelphia chromosome-positive (Ph+) acute lymphoblastic leukemia	Leuk Lymphoma	46	273-276	2005
Hiwatari M, Taki T, Tsuchida M, Hanada R, Hongo T, Sako M, <u>Hayashi Y</u> .	Novel missense mutations in the tyrosine kinase domain of the platelet-derived growth factor receptor alpha(PDGFR α) gene in childhood acute myeloid leukemia with t(8;21)(q22;q22) or inv(16)(p13q22)	Leukemia	19	476-477	2005

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ono R, Nosaka T, <u>Hayashi Y.</u>	Roles of a trithorax group gene, MLL, in hematopoiesis	Int J Hematol	81	288-293	2005
Ono R, Nakajima H, Ozaki K, Kumagai H, Kawashima T, Taki T, Kitamura T, <u>Hayashi Y.</u> , Nosaka T.	Dimerization of MLL fusion proteins and FLT3 activation synergize to induce multiple-lineage leukemogenesis	J Clin Invest	115	919-29	2005
Kanazawa T, Ogawa C, Taketani T, Taki T, <u>Hayashi Y.</u> , Morikawa A.	TLS/FUS-ERG fusion gene in acute lymphoblastic leukemia with t(16;21)(p11;q22) and monitoring of minimal residual disease	Leuk Lymphoma	46	1833-5	2005
Shiozawa Y, Kiyokawa N, Fujimura J, Suzuki K, Yarita Y, <u>Fujimoto J.</u> , Saito M, Yamashiro Y.	Primary Malignant Lymphoma of the Central Nervous System in an Immunocompetent Child: A Case Report	J Pediatr Hematol Oncol	27	561-4	2005
Matsui J, Kiyokawa N, Takenouchi H, Taguchi T, Suzuki K, Shiozawa Y, Saito M, Tang W-R, Katagiri YU, Okita H, <u>Fujimoto J.</u>	Dietary bioflavonoids induce apoptosis in human leukemia cells	Leukemia Research	29	573-81	2005
Ohtsuka Y, <u>Manabe A.</u> , Kawasaki H, Hasegawa D, Zaïke Y, Watanabe S, Tanizawa T, Nakahata T, Tsuji K.	RAS-blocking bisphosphonate zoledronic acid inhibits the abnormal proliferation and differentiation of juvenile myelomonocytic leukemia cells in vitro	Blood	106	3134-41	2005
Hasegawa D, <u>Manabe A.</u> , Kubota T, Kawasaki H, Hirose I, Ohtsuka Y, Tsuruta T, Ebihara Y, Goto Y, Zhao XY, Sakashita K, Koike K, Isomura M, Kojima S, Hoshika A, Tsuji K, Nakahata T.	Methylation status of the p15 and p16 genes in paediatric myelodysplastic syndrome and juvenile myelomonocytic leukaemia	Br J Haematol	128(6)	805-12	2005
<u>Tsurusawa M.</u> , <u>Manabe A.</u> , <u>Hayashi Y.</u> , Akiyama Y, Kigasawa H, Inada H, Noguchi N, Sawai N, Kobayashi R, Nagatoshi Y, Kawakami K and Nakahata T MDS committee of the Japanese Society of Pediatric Hematology.	Therapy-related myelodysplastic syndrome in childhood : A retrospective study of 36 patients in Japan	Leuk Res	29	625-32	2005
Yamamoto S, Nishi M, Taniguchi K, Imayoshi M, Ogata Y, Iwanaga M, Sakai N, Hamasaki Y, <u>Ishii E.</u>	Partial tandem duplication of MLL gene in acute myeloid leukemia with translocation (11;17)(q23;q12-21)	Am J Hematol	80	46-9	2005

著者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ando M, Sugimoto K, <u>Kitoh T</u> , Mukai K, Egashira M, Ando J, Sheldon M. Schuster.	Selective apoptosis of natural killer-cell tumor by L-asparaginase	Br J Haematol	130	860-8	2005
Eguchi-Ishimae M, Eguchi M, <u>Ishii E</u> , Knight D, Sadakane Y, Ioyama K, Yabe H, Mizutani S, Greaves M..	A distinctive allele of NAD(P)H:quinine oxidoreductase is associated with paediatric acute lymphoblastic leukaemia with MLL fusion genes in Japan	Haematologica	90	1511-5	2005
Kitazawa J, Tono C, Terui K, Kinukawa N, Oda M, Ioyama K, <u>Ishii E</u> , Ito E.	Successful outcome of mismatched hematopoietic stem cell transplantation from a related donor in an infant with acute lymphoblastic leukemia and a 9;11 translocation: a case report and review of the literature	Int J Hematol	81	428-32	2005
Muto A, Nakagawa A, Shimomura Y, Kitagawa Y, <u>Tsurusawa M</u> .	Antineoplastic agents for pediatric anaplastic large cell lymphoma: Vinblastine is the most effective in vitro	Leukemia and Lymphoma	46	1489-96	2005

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
井上富美子、 <u>石田也寸志</u> 、他	小児がん経験者の長期フォローアップ集学的アプローチ	JPLSG 長期フォローアップ委員会 監訳	Survivors of Childhood and Adolescent Cancer A Multidisciplinary Approach Edited By Schwartz CL, et al.	日本医学館	東京	2008	1-326
<u>堀部敬三</u> 、 <u>花田良二</u> 、 <u>多和昭雄</u> 、 <u>鶴澤正仁</u> 、他	治療成績に影響を及ぼす因子、他	日本小児血液学会	小児白血病・リンパ腫の診療ガイドライン	金原出版	東京	2007	1-59

V. 代表的論文

JPLSG

(Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group)

の最近の話題

堀部 敬三

Keizo Horibe

Clinical Research Center,

National Hospital Organization Nagoya Medical Center

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

Current topics on JPLSG (Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group)

日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) における臨床試験の実施状況と研究体制整備の動向を紹介した。二つの国際共同研究と一つの付随研究を含む10の臨床試験が進行中である。中央診断と検体保存やオンライン登録などの基盤整備とともに、長期フォローアップ体制への準備や施設基準の見直しにも取り組んでいる。国際的な情報交換や人的交流を推進するために、2006年から International BFM Study Group (I-BFM-SG) に正式加盟した。稀少疾患である小児造血器腫瘍の次世代の治療開発には、国際共同研究が不可欠であり、日本の診療・研究体制の一層の整備が求められる。

keywords : 小児白血病、臨床試験、国際共同研究、長期フォロー-疾患登録

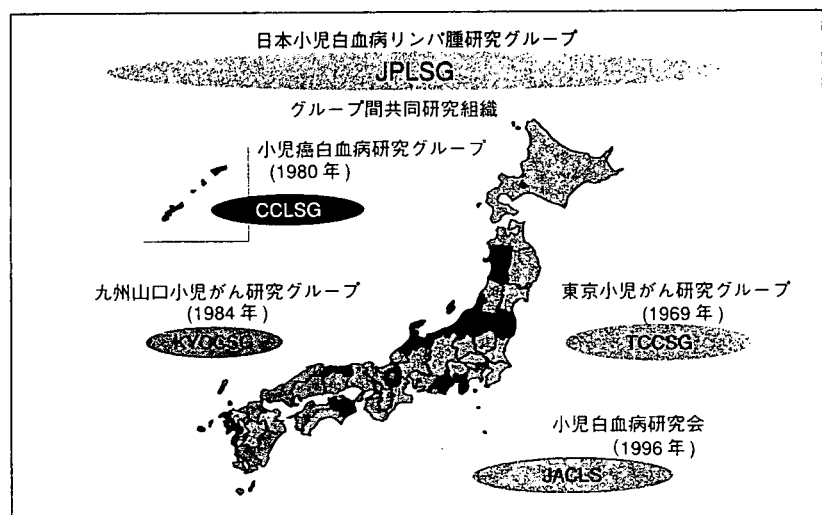


図1 JPLSGの構成図

(堀部敬三：厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業)「小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書：2007¹⁾より)

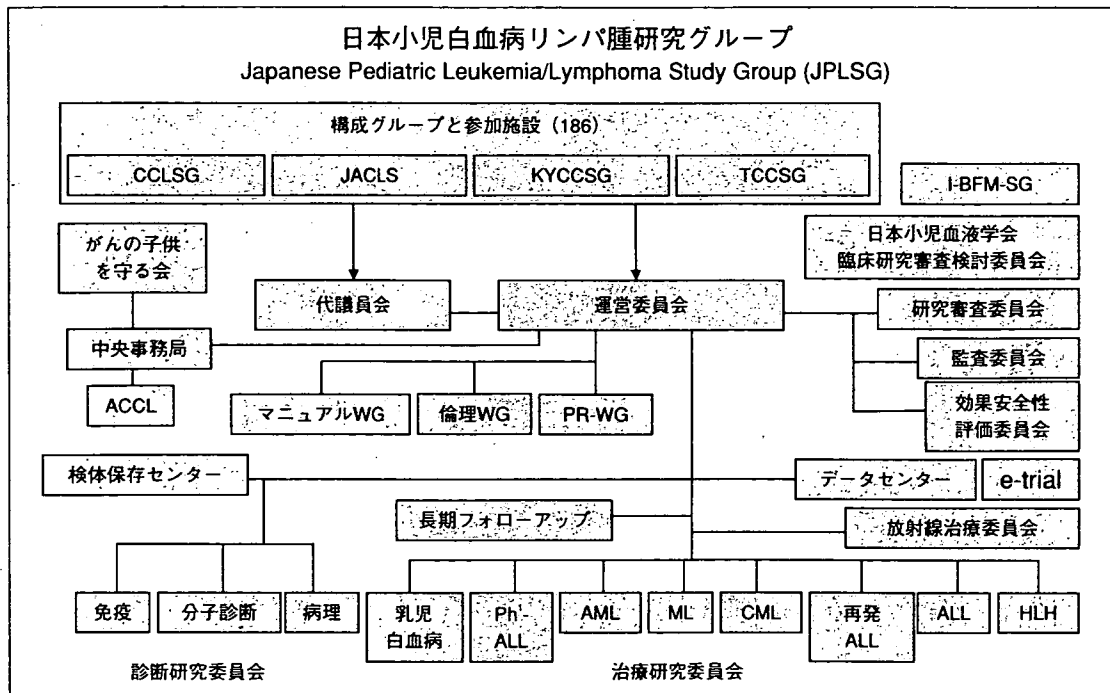


図2 JPLSGの組織図

(堀部敬三：厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業)「小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書：2007¹⁾より)

わが国の小児白血病リンパ腫の治療研究は、これまで地域や全国ネットの自主研究グループにより行われてきた。小児白血病患者を診療する施設のほとんどすべてがいずれかのグループに属しており、ほとんどすべての患者は施設が属する研究グループの治療プロトコールによって治療されている。

しかし、小児白血病リンパ腫は、もともと稀少疾患であるうえに少子化で患者数が減り、さらに治療成績の向上とともに治療の層別化が進んだため、臨床試験に必要な症例数の確保が困難になってきたことから、これまで以上に大規模な共同研究の必要性が高まっている。また、近年日本の臨床研究のあり方が見直されるなかで、科学性のみならず倫理性が充分配慮された質の高い臨床試験が求められるようになってきた。

これらの問題を解決するために、2002年に厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業の「小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究」班(主任研究者：堀部敬三。以下、堀部班)が発足し、その支援のもとに、03年に日本小児白血病リンパ腫研究グループ(Japanese Pediatric Leukemia/ Lymphoma Study Group：JPLSG)が設立された(図1,2)。このグループは、既存の四つの自主研究グループ、小児癌

白血病研究グループ(CCLSG)、九州山口小児がん研究グループ(KYCCSG)、小児白血病研究会(JACLS)、東京小児がん研究グループ(TCCSG)、の共同研究組織として位置づけられ、研究基盤の整備とともに難治性疾患を中心に全国規模の臨床試験が行われている^{1,2)}。

本稿では、JPLSGの臨床試験の実施状況と研究体制整備の動向を紹介する。

JPLSGで進行中の臨床試験

現在 JPLSG では、付随研究を合わせて10の臨床試験が進行中である(表1)。

ALCL99は、15カ国が参加する欧州小児非ホジキンリンパ腫共同研究グループ(EICNHL)のanaplastic large cell lymphomaに対する二つのランダム化比較試験を含む臨床試験である。2002年からJPLSGとして正式参加しており、この領域において日本全体で取り組むはじめての国際共同研究である。日本の症例はJPLSG データセンターで割付登録し、症例報告書の回収とデータクリーニングを行ったのちに、パリにあるALCL99中央データセンターに送付される。病理診断については、標本を